

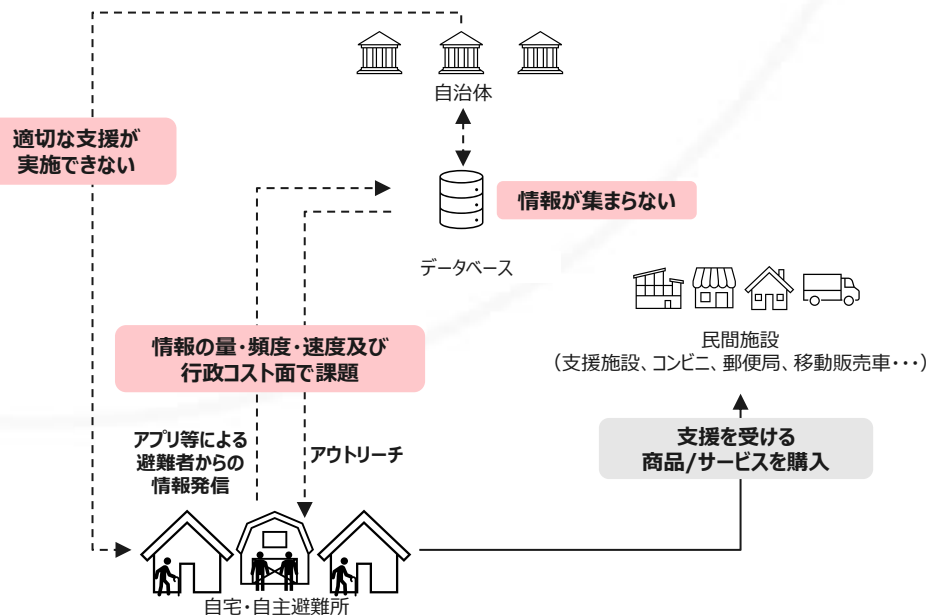
# 奥能登版デジタルライフラインに関するRFI項目説明図

## ①奥能登版デジタルライフライン実施事項の基本的な考え方

避難所外避難者が利用する共助拠点と行政をつなぐ仕組みを構築し、フェーズフリーで活用することで、災害時の避難者情報収集における行政コスト・頻度・量・速度を改善し、被災者支援の実現に貢献する。

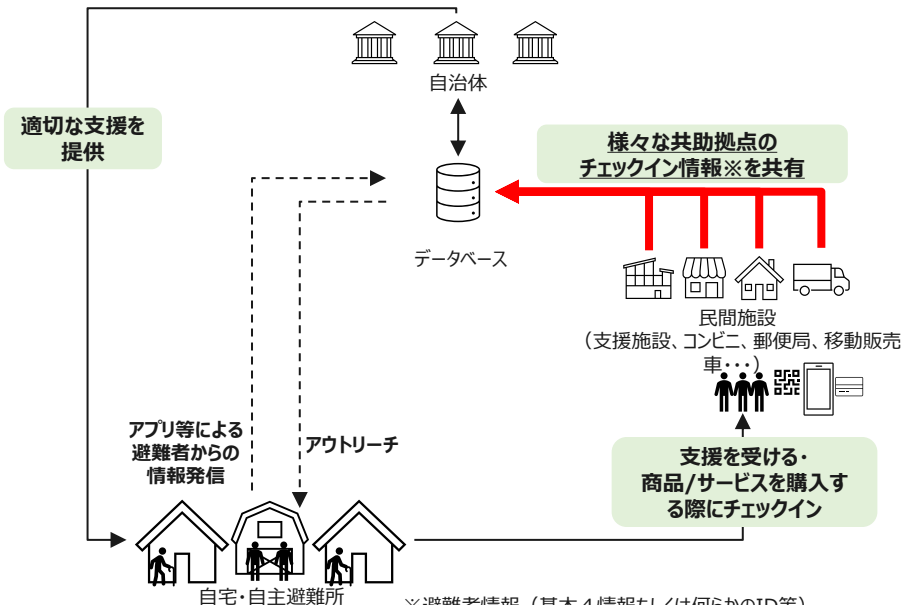
### ASIS

- 避難者情報が十分に集まらず、適切な行政支援が困難



### TOBE

- 避難所外避難者等が利用する民間施設と被災者DBをつなぐ仕組みを構築することで、情報収集における行政コスト・頻度・量・速度を改善



※避難者情報（基本4情報もしくは何らかのID等）、施設情報（ID、名称、位置等）、タイムスタンプ等を想定

# 奥能登版デジタルライフラインに関するRFI項目説明図

## ②特に情報提供を頂きたい項目

### 【特に情報提供を頂きたい項目】

- 〔a〕 民間サービス等から自治体等の情報提供：民間サービス等から自治体に、基本的な個人情報を含む情報（チェックイン情報等を想定）を提供する技術・システム
- 〔b〕 自治体から民間サービス等への情報提供：自治体から個人情報を活用する民間サービス等に、基本的な個人情報を含む情報（チェックイン情報等を想定）を提供する技術・システム

